

平成 27 年度 公益財団法人春日井市食育推進給食会事業計画書

生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育むために、次の食育に関する普及・啓発事業及び給食を機会とした食育の推進事業を行う。

1 食育に関する普及・啓発事業

発育・成長に応じた望ましい食習慣の形成については、家庭でも取り組むべき重要な課題であることから、家族でも話し合えるように学校給食等を題材として食に関する情報を記載したリーフレットを作成する。

また、ホームページで給食の写真やレシピ、栄養内容などを掲載し、給食に関する情報と魅力を視覚的に発信する。

2 給食を機会とした食育の推進事業

事業名	事業内容
学校・保育園給食	<p>(1) 食育</p> <p>自己の健康を管理し改善していく資質や能力の基盤を育成することが重要であることから、自分の食生活を見直し、自ら改善して、生涯を通じた望ましい食習慣が形成され、食事を通して好ましい人間関係や明るい社交性を育む。</p> <p>地産地消の推進</p> <p>郷土料理の献立</p> <p>食生活の衛生教育</p> <p>勤労や自然の恵みに対する感謝の心の醸成</p> <p>(2) 給食の調理</p> <p>食品衛生に関する各種法令に基づき、安全安心な給食調理を行い、良質な給食を安</p>

	<p>定期的に提供することにより、適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図る。</p> <p>小学校（38校） 実施日190日</p> <p>中学校（15校） 実施日190日</p> <p>保育園（9園） 実施日294日</p>
給食作文コンテスト	<p>成長に応じた豊かな人間性を築くため、小学6年生及び中学3年生を対象に、給食の思い出を振り返り自らの体験を綴った作品を募集する。</p>
夏休み親子料理教室	<p>保護者と子どもが楽しく食について学ぶため、栄養士が講師となり公民館等で給食献立を調理する。</p>
シェフによる味覚の授業	<p>食に関する体験活動を行うため、ホテルプラザ勝川のシェフが小学校で五味五感を活かした授業を行う。</p>
給食料理教室	<p>郷土料理、行事食等がわが国の優れた食文化であることを再認識するため、これらを取り入れた学校給食の献立や調理方法を学ぶ機会を提供する。</p>
なかよし給食試食会	<p>乳幼児期からの食育の重要性が増していることから保護者が食育について考える契機とするため、親子が保育園で試食を行う。</p>
学ぶ地産地消	<p>地域の自然や文化、産業等に関する理解を深めるため、地元で生産された食材を学校給食に使用する。</p>
給食レストラン	<p>毎年恒例となり児童生徒に人気の高い学校給食を体験するため、調理場で作った献立をゴールデンウィークに少年自然の家で提供する。</p>

東部調理場体験ツアー	食の安全性に関する知識と理解を深めるため、東部調理場において学校給食の調理体験や、衛生及び品質を徹底管理している調理現場の見学を行う。
食育講演会	健全な食生活の実現に欠かせない食に関する知識や判断力を養うため、東部調理場で大学教授等による講演会を開催する。
調理場探検隊	勤労の尊さや安全な給食の提供を体感するため、最新設備の東部調理場で児童が、調理機器の実物を使って、調理の疑似体験をする。

3 組織運営

(1) 事務局の配置

区 分	事務職		栄養士	
	正規職員	パート職員	正規職員	パート職員
事務局	1人	—	—	—
企画経営課	8人	1人	2人	1人

(2) 調理場の配置

区 分	事務職		栄養士	
	正規職員	パート職員	正規職員	パート職員
前 並	1人	1人	1人	1人
稲 口	1人	1人	1人	1人
白 山	1人	1人	1人	1人
東 部	1人	1人	2人	1人
計	4人	4人	5人	4人

区 分	調理職員		
	正規	パート	
前 並	10人	33人	午前19人 午後14人
稲 口	9人	34人	午前19人 午後15人
白 山	10人	34人	午前20人 午後14人
東 部	13人	45人	午前30人 午後15人
計	42人	146人	午前88人 午後58人

(3) 配膳パート職員

区分	人員
小学校 (38校)	134人
中学校 (15校)	33人
計 (53校)	167人

(4) 保育園の配置

区 分	調理職員		区 分	調理職員	
	正規職員	パート職員		正規職員	パート職員
勝川北部	2人	2人	大 手	2人	2人
柏 原 西	2人	3人	第 三	2人	3人
柏 原	2人	2人	出 川	2人	3人
小 野	2人	3人	神 領	2人	2人
味 美	2人	2人	計	18人	22人

(5) 職員研修

衛生、食育、調理等に関する職員の意識の高揚と能力開発に努め、自主的かつ意欲的に業務に取り組む職員の育成を図るため、職員研修計画に基づき実施する。

(6) 委員会

食育推進委員会、物資選定委員会、業務改善委員会、労働安全衛生委員会